

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年1月19日時点)

▶ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続する一方、露軍は東部ドネツク州における占領地拡大に向けた作戦や各地の民生インフラに対する攻撃を継続している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(シオイグ国防相発言22年9月21日)
: **死者約11万7770人**、戦車喪失3130両、装甲車両6225両(「ウ」国防省1月18日)
: **死傷者7~8万人前後**、装甲車両喪失3~4千両(米国防省22年8月8日※)
「ウ」軍 : **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)
「ウ」市民: **死者6952人以上、負傷者1万1144人以上**(OHCHR1月10日)

※ 米国防省からは、22年8月8日の評価以後、露軍・「ウ」軍の損害への言及は無し。22年11月9日、ミリー米統参議長は講演会で、露軍の死傷者10万人を超えており、「ウ」軍も同等の損害を被った可能性がある旨言及したが、米国防省報道官はミリー発言に対してはコメントせず。

露及びベラルーシは1月16日から2月1日までの間、ベラルーシ国内において共同飛行戦術訓練を実施する旨発表(1月16日)

ベラルーシ独立系メディアによれば、1月11日、露軍は「ベ」国内で訓練した動員兵を列車で露ヴォロネジ州(「ウ」ルハンスク州に隣接)に送った模様(1月18日)

「ウ」国防省情報総局は、露国内とりわけモスクワを中心とする地域で新たな動員の動きがみられ、特に軍務経験を持つ40~55歳の男性や旧ソ連諸国からの移民がその対象となるとの主旨の記事を公表(1月18日)

露軍は「ウ」全土に対し**57発のミサイル**を発射。「ウ」中部ドニプロでは露軍のミサイル1発が集合住宅に着弾し、**45人が死亡、79人が負傷**(1月14日)

モナスティルスキー「ウ」内相が搭乗したヘリがキーウ近郊で墜落し、同内相ほか計17人が死亡、22人が負傷(1月18日)

- シオイグ露国防相は、「特別軍事作戦」を統括する**統合軍集団司令官に、ゲラシモフ参謀総長を任命**。従前のスロヴィキン司令官は、サリュコフ地上軍司令官及びキム参謀副長とともに副司令官に任命(1月11日)
- 露国防省は、上記人事について、**軍種間の連携を改善する必要性**に基づくものであると同時に、後方支援の質的向上及び部隊指揮の効率改善を目的としている旨発表(1月11日)

- 露国防省は、ドネツク州ソレダルを「解放」(掌握)した旨発表(1月13日)
- マリヤル「ウ」国防次官は、**ドネツク州ソレダルにおいては戦闘が継続中である**旨発言(1月16日)
- 「ウ」国営通信は、**露民間軍事会社「ワグナー」がドネツク州パフムート及びソレダルの戦闘で、戦力の3分の2に当たる4万人を損耗した**との見方を報じた(1月18日)

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 💣 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 👉 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 👈 ウクライナ軍が奪還した地域

